

I 全体

もし世界中のひとびとが日本人のような暮らしを始めたら、地球は 2.3 コ必要。
日本人の暮らしを支えるためには、日本は 5.7 コ必要。

日本人の平均 EF (エコロジカル・フットプリント) 値	a	4.27 gha/人
世界の環境容量の平均値	b	1.82 gha/人
日本の国土の環境容量の平均値	c	0.75gha/人
世界中のひとびとが日本人のような暮らしを始めたら、必要な地球の数	d=a/b	約 2.3 コ
日本人の暮らしを支えるために必要な日本の数	e=a/c	約 5.7 コ

2002 年値 ; GFN (グローバル・フットプリント・ネットワーク) 2005

II クイズバックデータ

1 EF 値の算定手順

各自の消費生活による EF 値を算定するクイズ作成は、基本的に以下の手順による。

EF クイズ作成手順

EF の構成・算定のためのデータ整備

(1)	消費項目区分(環境配慮行動項目含む)とその EF 値の集計方法検討	GFN「The National Footprint and Biocapacity Accounts2005 Edition(Japan)」の CONSUMPTION LAND USE MATRIX」を基本に環境配慮行動項目を加えて設定(別表1;A・B 欄)
(2)	平均的日本人の消費項目ごとの EF 値 (gha/cap)設定	上記の CONSUMPTION LAND USE MATRIX」の「消費項目・土地項目別EF値」より引用(別表1;C1 欄*)
(3)	上記(2)平均的日本人の EF 値(gha/cap)に対応する消費量(or 金額)設定。	各種日本の消費統計より(別表1;C2 欄、II. 2)
(4)	各消費項目ごとの EF 値原単位設定。	「上記(2)(EF 値:gha/cap)」「上記(3) (一人当たり消費量 or 金額)」(別表1;C3欄)

「消費ランク区分」と「代表値」の設定

(5)	各消費項目ごとのランク (回答)区分と代表値(消費量・EF 値)の設定	EF 値=「消費ランク区分の代表値」×「上記(4) (EF 値原単位)」(別表2)
(6)	環境配慮行動に関する質問と EF 値算定への組み込み	各種資料を参考に環境配慮行動(Q4,Q12,Q17,Q18)に関する EF 値削減量を設定(別表 2、II. 2)

クイズの作成

(7)	クイズ質問・参考とクイズ回答による算定 EF 値の評価欄の作成	回答者への参考例の提示、回答結果(EF 値)の日本人平均・世界平均との比較、必要な地球の数などの表示(クイズ質問表)
-----	---------------------------------	--

* ; 土地項目(エネルギー地、農地、牧草地、森林地、建設地、海洋淡水域)ごとの合計 EF 値は、IEA、FAO、GAEZ などの国際統計の日本のデータを使用している。しかし、消費項目別の内訳(食べ物、住まい、商品・サービス、乗り物、未分類)では、エネルギー消費の一部は日本のデータ(IEA)となっているが、その他の項目のデータは、一般的な先進工業国で代表している。

2 クイズバックデータ

●食べ物

肉、魚の消費量(一人一日当り供給純食料*)

		一人一日当り供給純食料 (g)	一人一年当り供給純食料 (kg)
肉類など	肉類	77.8	一人一年当り供給純食料を 365(日) で除して算定
	鶏卵	46.0	
	牛乳・乳製品	254.5	
	小計	378.4	138.1
魚介類	魚介類	103.0	37.6
合計		481.4	175.7

2002 年度値；農林水産省 2006

* 純食料；飼料・種子・加工用及び農場から家庭の台所に届くまでに失われる量(減耗量)を差し引き、さらに実際の可食部(骨、芯などを引く)割合(歩留まり；日本食品標準成分表による)考慮後の数量(その他のロス(購入後のロス)で、実際の摂取量との差と考えられる)

Q1 肉類など(豚肉・牛肉・鶏肉・タマゴ・乳製品)を、1日にどれくらい食べますか？



日本人の平均：約 400g/人日(肉類 77.8g、鶏卵 46g、牛乳・乳製品 254.5g (2002 年度値；農林水産省 2006))

Q2 魚や貝をどれくらい食べますか？



日本人の平均：約 100g/人日(2002 年度値；農林水産省 2006)

Q3 植物性の食品(米・パン、豆腐・豆乳、イモ類、野菜など)をどれくらい食べますか？



日本人の平均：米 170g、小麦 90g、野菜 260g、果物 120g など 866g (2002 年度値；農林水産省 2006)

Q4 地元や家庭菜園などでとれた生鮮品・国産品(野菜や果物、魚や肉など)をなるべく選ぶようにしている？



1) 現状(平均)の設定

- ・日本の食料自給率(カロリーベース)：40%(2002 年度値；農林水産省 2006)
 - ・食料消費支出に占める外食・調理食品の割合：32%(2002 年値；総理府 2003)
- 現状では、半分程度の食品が、地元・国産の生鮮品と設定する。

2) エネルギー地

主に食品のエネルギー地に関わる要因であることから、GFN2005 の食品の「エネルギー地；0.08gha」の配分に関与させる。地元産か、旬か、冷凍品・その他加工品かなどにより生産、加工、輸送のためのエネルギー使用量が変化する。以下の文献では、2~6 倍程度の差となっていることから、ここでは、便宜的に最大・最小比を 4 倍に設定したが、近年では、より冷凍・長距離輸入の割合が高くなり、いっそうの差が想定される。

①久守藤男(2000)

生産施設だけの差はもっと大きいと考えられるが、ここでは、LCA 分析による全過程でのエネルギー分析であり、2 倍強程度の差となっている。

低エネルギー消費	高エネルギー消費
露地野菜；3360kcal/kg	施設野菜；7270 kcal/kg

②中口毅博(2001)

「県内産露地きゅうり」と「県外産ハウスきゅうり」とでは約 5.6 倍の差となっている。

きゅうりの生産時・輸送時のエネルギー比較

産地		取扱量(t)	エネルギー(kcal/kg)		
			生産 (a)	移動 (b)	合計(c)=(a)+(b)
県内産露地	宮城	8134	996	24	1020
	高知	1356	5054	813	5695
県外産ハウス	岩手	452	5054	124	

●住まい

Q5 いまの住まいに何人で暮らしていますか（家族・同居人など）？



Q6～Q10 の回答を、この人数で除して、それぞれの EF 値を算定。

Q6 いま住んでいる家（延べ床面積）の広さは？



下記データをもとに EF 値を算出。

項目	単位	1998 年	2003 年
1 住宅当り延床面積	m ²	92.43	94.85
世帯数	世帯	44,211,300	47,164,900
世帯人員	人	123,646,700	125,074,400
一人当たり延床面積	m ² /人	33.01	35.8
		35.2 (2002 年相当平均値)	

総務省 2000, 2005

Q7 毎月の電気の消費量は？ Q8 毎月の都市ガスの消費量は？ Q9 毎月の灯油の消費量は？
Q10 毎月の LPG の消費量は？

各エネルギー消費量（2002 年度値；経済産業省 2006）、世帯人員；2.59 人（2002 年度末値；エネルギー経済研究所 2004）、各エネルギー発熱量（環境省 2004）



[電気消費量]

家庭部門電力消費量；19678 メガジュール/世帯 = {(19678 メガジュール/世帯年) ÷ 2.59 人} ÷ (3.6 メガジュール/kwh) = 2110kwh/人年 = 176kwh/人月

[都市ガス消費量]

家庭部門都市ガス消費量 8754 メガジュール/世帯 = {(8754 メガジュール/世帯) ÷ 2.59 人} ÷ (41.1 メガジュール/Nm³) = 82m³/人年 = 6.85m³/人月

[石油製品（灯油）消費量]

家庭部門灯油消費量 9666 メガジュール/世帯 = {(9666 メガジュール/世帯) ÷ 2.59 人} ÷ (36.7 メガジュール/L) = 102L/人年 = 8.5L/人月

[石油製品（LPG）消費量]

家庭部門 LPG 消費量 4998 メガジュール/世帯 = {(4998 メガジュール/世帯) ÷ 2.59 人} ÷ (50.2 メガジュール/Kg) = 38.4Kg /人年 = 3.20 Kg/人月

- * GFN の 0.15gha (natural gas の energy land) を都市ガス・灯油・LPG の co₂ 排出比で配分。
- ・都市ガス co₂ 排出係数=0.0513(kg-co₂/メガジュール)より、0.0513(kg-co₂/メガジュール) × 8754 メガジュール/世帯=449 kg-co₂/世帯
 - ・灯油 co₂ 排出係数=0.0679(kg-co₂/メガジュール)より、0.0679(kg-co₂/メガジュール) × 9666 メガジュール/世帯=656 kg-co₂/世帯
 - ・LPGco₂ 排出係数=0.0598(kg-co₂/メガジュール)より、0.0598(kg-co₂/メガジュール) × 4998

メガジュール/世帯=299 k g-co2/世帯

したがって、

- ・都市ガスのEFは、 $0.15\text{gha} \times 449\text{ k g-co2} \div (449\text{ k g-co2} + 656\text{ k g-co2} + 299\text{ k g-co2}) = 0.05\text{gha}$
- ・灯油のEFは、 $0.15\text{gha} \times 656\text{ k g-co2} \div (449\text{ k g-co2} + 656\text{ k g-co2} + 299\text{ k g-co2}) = 0.07\text{gha}$
- ・LPGのEFは、 $0.15\text{gha} \times 299\text{ k g-co2} \div (449\text{ k g-co2} + 656\text{ k g-co2} + 299\text{ k g-co2}) = 0.03\text{gha}$

●商品・サービス

Q11 洋服・家具・家電製品、車などに、月平均、どれくらい支出している？

項目		支出額(円)
内訳	自動車など・自転車購入	4,640
	家具・家事用品	7,969
	教養娯楽(耐久財・用品・書籍印刷物)	13,229
	被服及び履物	11,868
	たばこ	1,257
	理美容その他用品	5,135
計(世帯(2.63人)1ヶ月当り)		44,098
計(一人1ヶ月当たり)		16,767

2002年値；総理府 2003

Q12 環境に配慮した商品を選んだり、同じ商品を長く使用したり、使用後はリサイクルに出したりしている？

環境配慮商品による省エネルギー効果は、他項目「家庭のエネルギー使用」、「エコカー利用に関する係数」で考慮済みであることからリサイクル・長期使用の視点より採取・製造・廃棄に関わる資源・エネルギー利用への配慮として係数を下表のように設定する。

「環境問題に対する意識調査」結果		EF値調整のための係数	
商品を購入する際、ごみ、資源、エネルギーなど環境のことを考えているか	%	考え方	設定値
いつも考えている	19.80	リサイクル・使用期間を1/4増加	$1/1.25=0.75$
だいたい考えている	57.50	日本人の平均状態	1
あまり考えていない	21.40	リサイクル・使用期間を1/5減少	$1/0.8=1.25$
まったく考えていない	1.20	リサイクル・使用期間を1/3減少	$1/0.666=1.5$

2004年値；内閣府 2005

なお、主要耐久消費財の使用年数の平均は下表のようである。

主要耐久消費財の平均使用年数(年)

	平均使用年数(年)*	参考普及率(%)**
電気冷蔵庫	10.4	—
ルームエアコン	10.2	88.2
カラーテレビ	9.1	99.4
電気洗濯機	8.7	—
電気掃除機	7	—
乗用車新車	6.7	51.1
ビデオカメラ	6.5	40.2
パソコン	4.5	68.3
DVDプレーヤー・レコーダー	4.3	61.1
デジタルカメラ	3.2	53.7
携帯電話	2.6	85.3
平均	6.7	68.4

内閣府 2006

*平成17年4月～平成18年3月に買替えをした世帯について買替え前に使用していたものの平均使用年数

**平成18年3月現在

Q13 通信、医療、娯楽、教育に、月平均、どれくらい支出している？

項目		支出額(円)
内訳	上下水道料	4,027
	通信	9,448
	自動車など維持	12,007
	保健医療	9,790
	教養娯楽サービス(宿泊含)	15,364
	教育	9,333
	その他サービス(理容)	2,841
計(世帯(2.63人)1ヶ月当り)		62,810
計(一人1ヶ月当たり)		23,882

2002年値；総理府 2003

●乗り物

Q14 公共の乗り物(鉄道・バス・地下鉄など)を毎日、往復どれくらい使う？

鉄道；輸送機関別輸送量(旅客；鉄道)(2002年度値；総務省 2007)より
 JRおよびJR以外の合計； $382 \times 10 \text{ 億人キロ} \div 127480000 \text{ 人} = 2997 \text{ キロ/人年}$
 バス；輸送機関別輸送量(旅客；バス)(2002年度値；総務省 2007)より
 $86 \times 10 \text{ 億人キロ} \div 127480000 \text{ 人} = 675 \text{ キロ/人年}$

以上より、 $2997 \text{ キロ/人年} + 675 \text{ キロ/人年} = 3672 \text{ キロ/人年} = 5.03 \text{ キロ圏/人日}$ 。

Q15 飛行機を1年にどれくらい使う(搭乗時間)

1) 輸送機関別輸送量(旅客；航空機)(2002年度値；総務省 2007)

①国内定期； $83010 \times 100 \text{ 万人キロ} \div 127480000 \text{ 人} = 651 \text{ キロ/人年}$

②国内不定期； $24 \times 100 \text{ 万人キロ} \div 127480000 \text{ 人} = 0.2 \text{ キロ/人年}$

③国際； $96829 \times 100 \text{ 万人キロ} \div 127480000 \text{ 人} = 760 \text{ キロ/人年}$

合計①+②+③= 1411 キロ/人年

2) 搭乗時間

平均速度； 688 km/時 (下表)より、 $(1411 \text{ キロ/人年}) \div 688 \text{ km/時} = 2.05 \text{ 時間/人年}$

航空機 速度

都市	区間距離		所要時間(時間)			平均速度(km/時間)			
	マイル	km	東京から	東京まで	平均	区間速度	加重平均速度寄与	加重平均速度	全体平均*
		a	b	c	$d=(b+c)/2$	$e=a/d$	f	g	h
マニラ	1879	3025	4.8	4.0	4.4	685	39	780	688
ホノルル	3831	6168	6.6	9.0	7.8	792	91		
シドニー	4859	7823	9.5	9.8	9.6	813	119		
サンフランシスコ	5131	8261	9.0	11.0	10.0	826	128		
ニューヨーク	6373	10261	12.5	14.3	13.4	765	147		
ジャカルタ	3611	5814	8.0	7.3	7.6	762	83		
北京	1313	2114	4.2	3.3	3.7	571	23		
パリ	6206	9992	12.7	12.0	12.3	810	151	581	
札幌	511	823	1.5	1.6	1.5	534	154		
大阪	280	451	1.1	1.2	1.1	401	63		
沖縄	984	1584	2.5	2.3	2.4	656	364		

* 国内線と国際線の輸送比(651+0.2)km/人年；760km/人年で加重平均
 2007年値；日本航空 2007

Q16 クルマでの走行距離は1年にどれくらい？

▼
 輸送機関別輸送量(旅客；乗用)(2002年度値；総務省2007)より
 $757 \times 10 \text{ 億人キロ} \div 127480000 \text{ 人} = 5938 \text{ キロ/人年}$

Q17 ハイブリッド車などのエコカーや「軽」に乗っている？

▼
 下表のエコカー(ハイブリッドなど)と在来車の燃費比較より、エコカー(ハイブリッド車及び軽)は在来車(軽を除く)の2倍の燃費と設定する。

エコカー(ハイブリッド車など)と在来車の燃費比較

排気量区分(cc)	ハイブリッド車				在来車				比較	
	型式	メーカー	排気量(CC)	燃費(Km/L)(a)	車種数	燃費(Km/L)			b/a	
						最大	最小	平均(b)		
軽	ハイゼットカーゴ	ダイハツ	659	20	79	30.5	15.2	22.85	1.14	—
1000以下					7	21	18.4	19.7	0.99	—
1001～1500	シビック	ホンダ	1339	29.5	106	19.6	13.8	16.7	0.51	0.50
	プリウス	トヨタ	1496	35.5						
2001～2500	エスティマ	トヨタ	2362	20	62	13.4	7.8	10.6	0.57	
	アルフォード	トヨタ	2362	17.2						
3001以上	ハリアー	トヨタ	3310	17.8	29	9.8	5.5	7.65	0.43	
	クルーガー	トヨタ	3310	17.8						

グリーン購入ネットワーク2007

引用文献

- GFN (Global Footprint Network)2005. The National Footprint and Biocapacity Accounts2005 Edition (Japan)
- 農林水産省2006「平成17年度食料需給表について(プレスリリース)」
- 総理府統計局2003「家計調査 平成14年年報」
- 久守藤男2000「LCA手法による飽食経済のエネルギー分析—和食と洋食を比較する—」. 農山漁村文化協会
- 中口毅博2001「環境にやさしい効果の試算 「宮城県県民環境配慮行動指針(エコライフカレンダー)バックデータ集:宮城県地域振興センター作成」 中口HPより
- 総務省2000、2005「住宅・土地統計調査1998,2003」.
- 経済産業省2006「エネルギー白書2006」
- エネルギー経済研究所2004「エネルギー経済統計要覧2004」
- 環境省2004「エコアクション212004年版 環境経営システム・環境活動レポートガイドライン」
- 内閣府2005「平成16年度国民生活モニター調査結果「環境問題に対する意識調査」
- 総務省2007「日本統計年鑑2007」
- 日本航空(株)HP2007年4月3日「フライトマイル」、「時刻表」
- グリーン購入ネットワーク(GPN) HP2007年2月3日「データベース」
- 内閣府2006「消費動向調査(全国、月次)平成18年3月実施調査結果」経済社会総合研究所景気統計部平成18年4月17日公表.

別表

別表1 EFの構成と算定のためのデータ

別表2 消費量等ランク区分と代表値の設定表

別表1 EFの構成と算定のためのデータ

A:消費項目			B:EFの構成要素と集計		C:EF値原単位と環境配慮行動				
			B1:EFの構成要素	B2:集計	C1:日本人平均フットプリント値 (gha/ cap)	C2:日本人平均消費 (環境配慮行動)			C3:EF値原単位 (C1/C2)
						平均消費量	解説	出典	
①食品	肉類等	Q1	Cropland, Pasture, Forest	① =Q1+Q2+Q3+Q4	0.24	400g/人日	豚肉・牛肉・鶏肉・タマゴ・乳製品の消費量	農林水産省2006	0.06gha/100g/人日
	魚介類	Q2	Fishing Ground		0.37	100g/人日	魚介類の消費量	農林水産省2006	0.37gha/100g/人日
	植物性食品	Q3	Cropland, Forest		0.31	866g/人日	米・パン・豆腐・豆乳・イモ類、野菜などの消費量	農林水産省2006	0.0358gha/100g/人日
	地産地消等	Q4	EnergyLand		0.08		「地元産・国産の生鮮品と冷凍・輸入・加工品が半々位 日本の食料自給率、食料消費支出に占める外食・調理食品の割合	農林水産省2006、総理府統計局2003	—
②家	居住者数	Q5	—	② =(Q6+Q7+Q8+Q9+Q10)/Q5	—	—	—	—	—
	家の大きさ	Q6	EnergyLand, Forest		0.25	35.2m2/人	住宅延床面積	総務省2000, 2005	0.0710gha/10m2/人
	電気	Q7	EnergyLand		0.3	2110kwh/人年	電力消費量	・経済産業省2006 ・エネルギー経済研究所2004 ・環境省2004	0.142gha/1000kwh/人年
	都市ガス	Q8	EnergyLand		0.048	82m3/人年	都市ガス消費量		0.0058gha/10m3/人年
	灯油	Q9	EnergyLand		0.07	102L/人年	灯油消費量		0.0690gha/100L/人年
	LPG	Q10	EnergyLand		0.032	38kg/人年	LPG消費量		0.00842gha/10kg/人年
③商品 & サービス	家具・家電製品、衣服、車等	Q11	EnergyLand, Cropland, Forest, Built area, Fishing Ground	③=Q11×Q12+Q13	0.46	16767円/人月	商品購入支出額	総理府統計局2003	0.2744gha/万円/人月
		Q12	グリーン商品・リサイクルによるEF値低減		—		商品を購入する際、環境のことを、だいたい考えている 環境問題に関する意識調査結果	内閣府2005	—
	通信、医療、娯楽、教育その他	Q13	EnergyLand, Forest, Built area		0.44	23882円/人月	サービス支出額	総理府統計局2003	0.1842gha/万円/人月
④交通	鉄道・バス・地下鉄	Q14	EnergyLand	④ =Q14+Q15+(Q16×Q17×Q18)	0.03	5.03キロ圏/人日	鉄道、バスの乗車距離	・総務省2007	0.00439gha/キロ圏/人日
	航空機	Q15	EnergyLand		0.07	2.05時間/人年	航空機の搭乗時間	・総務省2007 ・JAL, HP2007.4.3	0.0341gha/時間/人年
	車	Q16	EnergyLand, Cropland		0.5	5938キロ/人年	車の走行距離	総務省2007	0.0842gha/1000km/人年
		Q17	エコカー・軽 利用によるEF値低減		—	—	在来車とエコカー・軽の燃費比較	グリーン購入ネットワーク HP2007.2.3	—
	Q18	複数乗車によるEF値低減	—	—	乗車人員	—	—		
⑤未分類			EnergyLand, Forest	⑤ =1.101*(①+②+③+④)/(4.301-1.101)	1.101	—	—	—	—

B1, C1; GFN 2005

C2; II. 2 参照

別表2 消費量等ランク区分と代表値の設定表

項目	代表値・回答区分		単位	消費量等ランク区分						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
Q1	肉類等	代表値	消費量	g/人日	0	75	225	400	600	800
		EF		gha	0	0.045	0.135	0.24	0.36	0.48
	回答区分		g/人日	食べない	150g未満	150～300g未満	300～500g未満	500～700g未満	700g以上	
Q2	魚介類	代表値	消費量	g/人日	0	20	60	100	160	200
		EF		gha	0	0.074	0.222	0.37	0.592	0.74
	回答区分		g/人日	食べない	40g未満	40～80g未満	80～120g未満	120～200g未満	200g以上	
Q3	植物性食品	代表値	消費量	g/人日	433	650	866	1083	1732	
		EF		gha	0.155	0.233	0.310	0.388	0.465	
	回答区分		定性	少なめ	やや少なめ	普通	やや多め	多め		
Q4	地産地消等	代表値	地産地消等の程度	係数	0.5	0.75	1	1.5	2	
		EF		gha	0.04	0.06	0.08	0.12	0.16	
	回答区分		定性	生鮮品・国産品がほとんど	生鮮食品・国産品が半分以上	冷凍・輸入・加工品が半々位	冷凍・輸入・加工品が半分以上	冷凍・輸入・加工品がほとんど		
Q6	住宅	代表値	平均延床面積	m ² /世帯	25	75	125	175	225	
		EF		gha/世帯	0.178	0.533	0.888	1.243	1.598	
	回答区分		m ² /世帯	50m ² (約30畳)未満	50(約30畳)～100m ² (約60畳)未満	100(約60畳)～150m ² (約95畳)未満	150(約95畳)～200m ² (約125畳)未満	200m ² (約125畳)以上		
Q7	電力	代表値	消費量	kwh/世帯月	0	100	250	400	600	800
		EF		gha/世帯	0.000	0.170	0.426	0.682	1.023	1.364
	回答区分		kwh/世帯月	使用せず	200kwh未満	200～300kwh未満	300～500kwh未満	500～700kwh未満	700kwh以上	
Q8	都市ガス	代表値	消費量	m ³ /世帯月	0	5	15	30	50	70
		EF		gha/世帯	0.000	0.035	0.104	0.208	0.347	0.486
	回答区分		m ³ /世帯月	使用せず	10m ³ 未満	10～20m ³ 未満	20～40m ³ 未満	40～60m ³ 未満	60m ³ 以上	
Q9	灯油	代表値	消費量	L/世帯月	0	5	15	30	50	70
		EF		gha/世帯	0.000	0.041	0.124	0.248	0.414	0.580
	回答区分		L/世帯月	使用せず	10L未満	10～20L未満	20～40L未満	40～60L未満	60L以上	
Q10	LPG	代表値	消費量	Kg/世帯月	0	5	15	30	50	70
		EF		gha/世帯	0.000	0.050	0.151	0.303	0.505	0.707
	回答区分		Kg/世帯月	使用せず	10kg未満	10～20kg未満	20～40kg未満	40～60kg未満	60kg以上	
Q11	家具・家電製品、衣服、車等	代表値	消費支出額	万円/人月	0.25	0.75	1.5	2.5	3.5	
		EF		gha	0.069	0.206	0.412	0.686	0.960	
	回答区分		万円/人月	0.5万円未満	0.5～1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3万円以上		
Q12	グリーン購入・使用・リサイクル	代表値	EF値調整のための係数	係数	0.75	1	1.25	1.5		
		回答区分		定性	いつもそうしている	だいたいそうしている	それほどでもない	まったくそうしていない		
Q13	通信、医療、娯楽、教育その他サービス	代表値	消費支出額	万円/人月	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	
		EF		gha	0.092	0.276	0.461	0.645	0.829	
	回答区分		万円/人月	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4万円以上		
Q14	鉄道・バス・地下鉄	代表値	乗車距離	キロ圏/人日	0	1.5	4	7.5	17.5	32.5
		EF		gha	0.000	0.007	0.018	0.033	0.077	0.143
	回答区分		キロ圏/人日	利用しない	片道3キロ圏未満	片道3～5キロ圏未満	片道5～10キロ圏未満	片道10～25キロ圏未満	片道25キロ圏以上	
Q15	航空機	代表値	搭乗時間	時間/年	0	1.25	3.75	7.5	20	40
		EF		gha	0.000	0.043	0.128	0.256	0.683	1.366
	回答区分		時間/年	利用しない	2.5時間未満	2.5～5時間未満	5～10時間未満	10～30時間未満	30時間以上	
Q16	車	代表値	走行距離	キロ/人年	0	1250	3750	6000	8500	11500
		EF		gha	0.000	0.105	0.316	0.505	0.716	0.968
	回答区分		キロ/年	利用しない	2500キロ未満	2500～5000キロ未満	5000～7000キロ未満	7000～10000キロ未満	10000キロ以上	
Q17	エコカー(軽)の利用	代表値	EF値調整のための係数	係数	1	0.75	0.5			
		回答区分		定性	利用していない	時々、利用している	よく利用している			
Q18	乗車人員	代表値	EF値調整のための係数	係数	1	0.5	0.33			
		回答区分		人	1人	2人	3人以上			